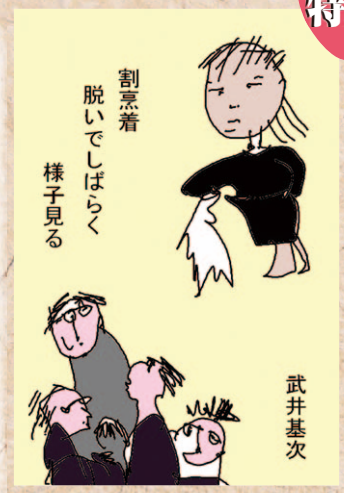
八木健の川柳アート

選者・川柳アート
八木健（月刊川柳総合誌「川柳マガジン」元選者）

110

特選



割烹着脱いでしばらく様子見る

「特定国立研究開発法人」に指定されれば、百億円の財政援助がもらえるはずでした。小保方さんは割烹着を脱ぎ、責任をかぶせられるらしい。

武井　基次（松前町）

返すなら借りなきゃ良かった八億円

結局、政治は金まみれで「億単位」の現金が動くものだという現実を国民に教えてくれて、ありがとう。次の選挙は、感謝しつつ一票を誰に。

宮岡　沙代（松前町）

佳作

体重を減らせと自転車がパンク

モノゴトすべて原因と結果で納得。自転車のパンクは、不良タイヤが原因。それは食費がかさむので、安物の自転車を買ったからで、過剰な体重が原因ではない。

村田　節子（八幡浜市）

猪に筍掘りの極意訊く

「見つけ方や掘り方の極意を教えてください、イノシシさん」
「猪肉と筍の煮物をつくるんでしょ」
「よう分かってますなあ」

石原　康正（松山市）

ストレスも一緒に食べるシュレッダー

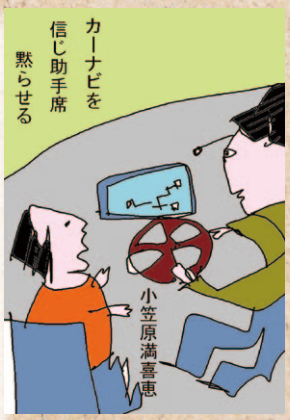
秘密書類をパクパク食べる機械。嫌味な部長や自分の失敗を部下のせいにする係長なども、この機械に食べさせたいなあ。

宮井　園江（松山市）

完敗が善戦になるローカル紙

読者は分かっています。郷土のチームが弱いことを。そう言えばかつての大本営発表も、弱い日本が連戦連勝と報じたものです。

平野　陽介（宇和島市）



カーナビを信じ助手席黙らせる

「あなた、私の説明を信用しないのね。カーナビの女の声が好きなのね。声がよくても顔は駄目なのよ」
「お前よりマシだろう」

小笠原満喜恵（松山市）

折角の買いだめハガキに二円貼る

駆け込みとやらで、ハガキを買いこんだ。二円貼らなきゃならん。百枚買ったから二百円分の切手が要る。しかも貼る手間。手間賃を考えるのも時間の無駄。

三並恵津子（今治市）

ひろば JUL.

娘の初育児

亘のばぁば（内子町・55歳）

「母乳も飲んで、オムツも替えたのに泣きやまない」と半べそをかく娘。私が抱いてあやすと泣きやみ、スヤスヤ眠り始めた。それを見た娘は「私はわが子をあやすこともできない…」と涙。そんな娘に主人が「バカやのう。赤ちゃんは、ババが怖いけん寝たふりしたんじゃが」と。これには娘も大笑い。娘よ、私にも新米の時があったんだよ。力を抜いて、ゆっくり育児を楽しんでね。それにしても、主人の言葉――。私は鬼ババア?-?

私の日課

C・S（鬼北町・71歳）

3月から本紙コラム「地軸」の書き写しにハマっている。まず書き始めるまで本文には目を通さない。癖のある字でもマス目を埋め込むと、それなりに味がある。読み返すと自分で書いたような錯覚に陥り、筆者の見解や知識を知人に受け売りして得意になっている。認知症などの病も足元まで忍び寄る今、撃退法になればと、辞書を傍らに奮闘中である。わが家の出来事を一筆添えて…。やがて一人でも、良い文章が書けますように。

素質があるのかも…

S・Kボーイ（松山市・66歳）

夕方、4歳になる孫娘と散歩していた折、道端でバラの手入れをしていた初老の男性に「こんにちは」と声をかけた。その人は軽く会釈をしてくれた。すると、うれしかったのかもう一度「こんにちは」と。十歩ほど歩いた時「お嬢さん、良くあいさつができましたね。プレゼントします」とトゲが取り除かれた1本の深紅のバラを差し出した。孫娘の声と笑顔がすてきだったのかな。この年でバラをもらうとは、ひょっとして男性にもてる素質があるのかも…。

お便り募集

○川　柳

テーマは自由。未発表のオリジナル作品に限ります。採用された作品には選者・八木健さんが切り絵やCGを使った「川柳アート」を作り、本誌に掲載の上、採用者にプレゼントします。

○ひろば

エッセーなどを募集しています。テーマは自由、200字以内。誌面の都合上、原稿を割愛、修正する場合があります。ご了承ください。採用の方には、1,000円分の図書カードをお送りします。

川柳とひろばのあて先は下記の通りです。住所、氏名、電話番号、性別、年齢をお書きください（ペンネームも可。必ず氏名を記入してください）。

※ご応募いただいた個人情報は、適切に取り扱います。

〒790-8511　松山市大手町1丁目12-1
アクリート編集室　通信係
Eメール　accrete@enp-sc.jp